

Rmab+PTX療法

切除不能進行・再発胃癌(2次治療)

対象患者:PS 0-1

Rmab 8mg/kg

PTX 80mg/m²



[day 1]

PTX 80mg/m²



[day 8]

Rmab 8mg/kg

PTX 80mg/m²



[day 15]

4W1クール

NO	薬品名・規格	投与量	投与速度
1	生食 50ml ポララミン 5mg 2A		5分
2	グラニセトロンバッグ 3mg 100ml デキサート 9.9mg ファモチジン 20mg		30分
3	生食 250ml サイラムザ	ml	初回 60分 2回目以降 30分
4	生食 50ml		15分
5	生食 250ml パクリタキセル	mg	60分
6	生食 50ml		10分

☆1クール毎に尿蛋白を検査項目に追加することをご考慮下さい。尿蛋白2+以上では定量検査(24時間蓄尿を用いた全尿検査か尿蛋白・クレアチニン比)の実施をおこなって下さい。臨床検査所見(浮腫の増強、血中Albの低下、ネフローゼ症候群)を認める場合はサイラムザの投与可否をご判断下さい。

★投与前に血圧を測定し、収縮期血圧150mmHgまたは拡張期血圧90mmHgを超えた場合、降圧剤の内服をご検討下さい。

※サイラムザ投与中にインフュージョンリアクションが発現した際には直ちに投与速度を50%減速し医師に連絡して下さい。

注:本剤の投与にあたっては、インラインフィルター(0.2又は0.22μm)を使用する事。